

平成28年度第2回帯広市消費生活審議会 議事要旨

- 1 日 時 平成28年8月18日(木) 10:00～11:52
- 2 場 所 帯広市役所 10階 第2会議室
- 3 出席者 **【委員 9人】**
津久井委員(会長)、村上委員(副会長)、会木委員、大久津委員、後藤委員、酒井委員、戸出委員、中村委員、野村委員
【帯広市 6人】
草森市民活動部長、梅津市民活動部企画調整監、大林安心安全推進課長、泉消費生活係長、佐藤消費生活調査員、石川事務嘱託員
- 4 会議次第
 - (1)開会
 - (2)会長挨拶
 - (3)議事
 - ①報告事項
 - ア 前回審議会において保留した質疑に対する回答について
 - イ 帯広市消費生活基本計画における推進施策の検証・評価について
 - ②審議事項
 - ア 次期帯広市消費生活基本計画(素案)について
 - イ その他
 - (4)閉会
- 5 配付資料
 - 資料1 帯広市消費生活基本計画における推進施策の検証・評価について(平成27年度)
 - 資料2-1 帯広市消費生活基本計画 現行計画と次期計画(素案)比較表
 - 資料2-2 次期計画(素案) 相談件数統計
 - 資料3 次期帯広市消費生活基本計画(素案)に対する意見等提出書
- 6 議事要旨
 - (1)会長挨拶
 - ・ 津久井会長から挨拶があった。
 - (2)議事
 - ①報告事項
 - ア 前回審議会において保留した質疑に対する回答について
 - ・ 平成28年7月26日開催の前回審議会において、報告事項「帯広市消費生活基本計画に係る取組みの実施状況」に関して回答を保留した委員からの質疑1件について、事務局から口頭により回答した。
 - ・ 委員からの質疑はなかった。

イ 帯広市消費生活基本計画における推進施策の検証・評価について

- ・ 事務局から、資料1について説明した。
- ・ 委員からは、次の項目について質疑と意見があった。
 - ・ 消費者講座や出前講座等の受講実績の評価。
 - ・ 出前講座受講団体の拡大や関係機関・団体への呼びかけによる効果的な消費者啓発の実施。
 - ・ 不審な電話勧誘など特殊詐欺や悪質商法の手口に関する情報の市民への提供・啓発による消費者被害防止の重要性。
 - ・ 高齢者や若年者だけでなく、30～50歳代に対する消費者被害防止啓発の必要性。

②審議事項

ア 次期帯広市消費生活基本計画（素案）について

- ・ 事務局から、資料2-1、資料2-2及び資料3について一括して説明した。
- ・ 委員からは、次の項目について質疑と意見があった。
 - ・ 次期計画の基本方針Ⅰ「消費生活の安全・安心」における社会情勢の説明部分に、「高度情報化の進展」の視点も加える考え。
 - ・ 次期計画の「計画の指標」として、「消費生活のホームページアクセス件数」のほかに、フェイスブックなど「SNSアクセス件数」を追加することの是非。
 - ・ 次期計画の各施策の「取組内容」欄に、担当課名を記載しないことの是非。

イ その他

- ・ 委員から、その他の質問・意見等はなかった。